

第5学年 算数 評価規準表

観点		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元等				
4 月	1、少数と整数 2、図形の合同	1、小数点を移して、10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ 、 $1/100$ などの数を作ることができる。十進位取り記数法による小数や整数の仕組みを理解している。また、小数や整数の構成についての豊かな感覚をもっている。 2、合同な図形を弁別・作図することができる。合同の意味を知り、性質や作図のしかたを理解している。	1、十進位取り記数法の原理をもとに、小数や整数の仕組みを考えている。 2、合同な三角形の能率的なかき方を、考えている。	1、身近な場面や図を用い、進んで小数や整数の仕組みを考えようとしている。 2、合同な図形に関心をもち、図形を考察したり構成したりしようとしている。
5		3、平均や単位量あたりの大きさ	3、日常の事象を数理的にとらえ	3、日常の事象を考察するときに

<p>月</p> <p>3、単位量あたりの大きさ 4、少数のかけ算</p>	<p>を求めることができる。平均の意味や使い方、単位量あたりの大きさの意味、表し方を理解している。また、人口密度などの量の大きさについての豊かな感覚をもっている。</p> <p>4、小数の乗法を筆算を使って計算することができる。小数の乗法の意味と計算のしかたを理解し、乗数による積と被乗数の大小関係を理解している。</p>	<p>るために、平均の考えや、単位量あたりの考えで考えている。</p> <p>4、整数の乗法の考え方を使得、小数の乗法の意味や計算のしかたを考えている。</p>	<p>平均の考えや、単位量あたりの考えを用いようとしている。</p> <p>4、整数の乗法と同じように考えて、小数の乗法の計算のしかたを考えようとしている。</p>	
<p>6 月</p> <p>5 図形の角 6 小数のわり算</p>	<p>5、三角形の内角の和を用いて、多角形の内角の和を求めることができる。三角形の内角の和が180° であること、多角形の内角の和は三角形に分けて求められることを理解している。</p> <p>6、小数の除法を筆算を使って計算することができる。小数の除法の意味と計算のしかた、余りのあるときの処理のしかた、商を概数で求めるしかたを理解してい</p>	<p>5、三角形の内角の和をもとに、多角形の内角の和を考えている。</p> <p>6、整数の除法の考え方を使得、小数の除法の意味や計算のしかたを考えている。</p>	<p>5、三角形の内角の和を適用するよさに気づき、これを活用しようとしている。</p> <p>6、整数の乗法と同じように考えて、小数の除法の計算のしかたを考えようとしている。</p>	
<p>7</p>	<p>倍について、小数倍になることが</p>	<p>数直線や図などを用いて、整数倍</p>	<p>2つの量に関係づけてみようとし</p>	

<p>高さ比べ 月 復習①</p>		<p>あっても考え方は整数倍と変わらないことを理解している。小数倍であっても、何倍かを求めるのに除法を、また、何倍かにあたる大きさを求めるのに乗法を使うことができる。</p>	<p>と同じように小数倍を考えている。</p>	<p>ている。</p>
<p>9 月 7 倍数と約数 8 分数のたし算とひき算</p>		<p>7、倍数・公倍数・最小公倍数、約数・公約数・最大公約数を求めることができる。倍数・公倍数・最小公倍数や、約数・公約数・最大公約数、素数の意味と求め方を理解している。また、整数の見方についての豊かな感覚もっている。</p> <p>8、約分や通分ができる。また、異分母分数の加法及び減法の計算ができる。約分・通分の意味、異分母分数の大小比較のしかたや、異分母分数の加法及び減法の意味や計算のしかたを理解している。</p>	<p>7、整数を倍数、約数の観点から分類して考え、分類した数の集まりに共通の特徴を考えている。</p> <p>8、異分母分数の大小比較の方法を考えている。また、異分母分数の加法及び減法の計算のしかたを、図や式を用いて考えている。</p>	<p>7、倍数、約数の考えを問題解決や、日常生活の場面で役立てようとしている。</p> <p>8、異分母分数の大小を比べる方法に関心をもっている。また、異分母分数の加法及び減法の計算のしかたを考えようとしている。</p>
<p>10</p>		<p>9、分数を小数や整数で表した</p>	<p>9、整数の除法の結果を分数で表</p>	<p>9、分数を用いると整数の除法の</p>

<p>月</p>	<p>9、分数と小数・整数 10、体積</p>	<p>り、小数や整数を分数で表すことができる。整数の除法の結果が分数で表せることを理解している。</p> <p>10、直方体や立方体の求積公式を用いて、体積を求めることができる。体積の単位や、直方体や立方体の求積公式の意味を理解している。また、体積の大きさについての豊かな感覚をもっている。</p>	<p>す方法や、分数・小数・整数の相互関係について考えている。</p> <p>10、直方体や立方体の体積を、数値化する方法を考え、具体物や図、式を用いて体積を求め、求積公式を導いている。</p>	<p>結果が1つの数で表せるよさに気づいている。</p> <p>10、身の回りにあるものの体積に関心をもち、それらの体積を調べたり、比べたりしようとしている。</p>
<p>11 月</p>	<p>11、分数のかけ算とわり算 12、図形の面積</p>	<p>11、乗数や除数が整数の場合の分数の乗法及び除法の計算ができる。乗数や除数が整数の場合の分数の乗法及び除法の意味と計算のしかたを理解している。</p> <p>12、求積公式を活用し、基本的な図形の面積を求めることができる。平行四辺形、三角形の面積の求め方や求積公式の意味を理解している。また、平面図形の面積の大きさについての豊かな感覚をもっている。</p>	<p>11、乗数や除数が整数の場合の分数の乗法及び除法の意味や計算のしかたを、具体物や図、式を用いて考えている。</p> <p>12、既習の求積方法をもとにして、倍積変形・等積変形などの操作を通し、図形の面積の求め方を考えている。</p>	<p>11、乗数や除数が整数の場合の分数の乗法及び除法の計算のしかたを考え、それを活用しようとしている。</p> <p>12、平行四辺形や三角形、ひし形、台形の面積の求め方を、既習の正方形や長方形の面積の求め方をもとに考えようとしている。</p>
<p>12</p>		<p>13、表から数量の関係を読み</p>	<p>13、比例関係にある2つの数量</p>	<p>13、日常生活の中で、比例関係</p>

月	13、比例 復習②	取ったり、比例の関係を式に表したりすることができる。比例の定義や性質を理解し、その関係を表や式に表す方法を理解している。	の対応や変化のしかたの特徴を見いだしたり、2つの数量の関係を式に表したりして、数量の関係を考えている。	に着目したり、2つの数量の関係を式などに表したりしようとしている。
1 月	14、正多角形と円 15、割合とグラフ	14、正多角形を作図することができる。また、円周率を用いて、円の直径や円周を求めることができる。正多角形の定義やその性質について理解している。また、円周率について理解している。 15、割合、比べられる量、もとにする量を求めることができる。また、割合を円グラフや帯グラフに表すことができる。割合の意味と表し方、円グラフや帯グラフの読み方やかき方を理解している。	14、正多角形の作図の方法を考えたり、性質や特徴を見いだしたりしている。また、円を実測したりして、円周率について考えている。 15、割合でとらえられる同種の2つの数量の関係を、図や式を用いて考えている。また、資料について、全体や部分の関係を調べ、特徴をとらえている。	14、身の回りから正多角形を見つけ、正多角形を作図しようとしている。また、円周率を用いて問題を解決しようとしている。 15、2つの数量の関係を割合を用いて考えたり、割合や円グラフ、帯グラフを活用して表したりしようとしている。
2		16、角柱や円柱の見取図・展開	16、立体図形を分類し、分類し	16、立体図形の観察や構成など

<p>月</p>	<p>16、立体</p>	<p>図をかくことができる。角柱や円柱の定義や構成要素について理解している。また、立体図形についての豊かな感覚をもっている。</p>	<p>た観点や分類した立体ごとの特徴を見いだしている。また、角柱や円柱の見取図や展開図をかく方法を考えている。</p>	<p>を通して、その特徴や性質をとらえようとする。</p>
<p>3月</p>	<p>17、5年のまとめ</p>	<p>17、既習の計算や作図が適切にできる。既習の用語や定義・性質を理解している。</p>	<p>17、既習の見方・考え方を確かめたり、その関係を考えたりしている。</p>	<p>17、5年で学習したことに進んで取り組み、学習のまとめをしようとしている。</p>